

(参考書式第 6 号)

(注)以下の氏名・名称は、全て仮名です。

○年 ○月 ○日

{ あっせん
調 停
仲 裁 } 申 請 書

東京都公害審査会 御中

申請人の住所 東京都〇〇市〇〇町三丁目 2 番地 1 号

氏名 (名称) 東京 太郎 (印)

ほか 3 名 (別紙「当事者目録(申請人)」
に記載の者)

(注) 代理人がないとき、又は弁護士以外の方が代理人
となるときは、申請人の印鑑が必要となります。

電話番号 0 4 〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

代表者の住所

氏名 (名称)

㊞

電話番号

代理人の住所 東京都〇〇区〇〇町一丁目 1 番 1 号

氏名 (名称) 弁護士 大阪 次郎 ㊞

電話番号 0 3 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

公害紛争処理法第 2 6 条の規定により、下記のとおり { あっせん
調 停
仲 裁 } の申請をします。

記

1 被申請人の住所 (所在) 及び氏名 (名称)

住所 東京都〇〇区一丁目 2 番 3 号

氏名 乙野工業株式会社 代表取締役 乙野 三郎

2 当該公害に係る事業活動その他の人の活動が行われた場所

東京都〇〇市〇〇町三丁目 3 番地 3 号 所在の被申請人の工場

3 被害の生じた場所

申請人ら住所地

4 (~~あつせん~~ ・ 調停 ・ 仲裁) を求める事項及びその理由

(1) 事項

ア 被申請人は、防音壁を設置するなどして、東京都〇〇市〇〇町 3-3-3 所在の被申請人の工場からの騒音を低減すること。

イ 被申請人は、工場の操業時間を午前 9 時から午後 5 時までとし、夜間及び土日の操業は行わないこと。

ウ 上記措置をとらない場合、被申請人は、〇年〇月〇日までに工場を現在地から移転すること。

(2) 理由

騒音のために血圧の上昇、動悸、睡眠不足等の被害を受けているため。

5 紛争の経過

(1) 被申請人は、〇年頃、申請人ら住所地の隣接地に工場を移転させ、金属加工作業等を始めた。

(2) 被申請人工場では、金属加工のために、プレス機、ボイラー、モーターコンプレッサー等の機械を使用しているが、これらの作業は年中無休で午後 8 時まで続けられている。

(3) これらの騒音により、申請人らは、血圧の上昇、動悸、睡眠不足等の被害を受けている。

(4) 申請人らは、被申請人に対し、再三、対策の実施を申し入れたが、被申請人は、何ら誠実な対応を示さなかった。

(5) やむなく市の公害所管課に苦情を申し出て、騒音測定をしてもらったが、市の行政指導にも限界があり、実効ある対策がなされていない。

(6) しかし、申請人らの住所地近辺は、比較的静穏で良好な環境にあり、特に夜間の騒音は、非常に耳障りで、心身に多大な悪影響を及ぼすものである。また、せめて、土日ぐらいは静穏な環境で生活を送りたいというのが申請人らの心情である。

(7) このため、やむなく、調停申請に及んだものである。

6 (~~あつせん~~ ・ 調停 ・ 仲裁) を行うにあたって参考となる事項

問題となっている公害に関し、何らかの行政処分がされていたり、同一の公害による紛争で、既に解決済みのものがある場合等は、その時期や内容等を書いてください。

7 添付書類

【証拠（例）】

甲第 1 号証 騒音測定結果（令和〇年〇月〇日測定）
甲第 2 号証 付近概略図

甲第3号証 診断書（令和〇年〇月〇日〇〇病院作成）

【その他】

代理人選任書

被申請人商業登記簿謄本（コピー不可）

当事者目録（申請人）

当事者目録（被申請人）

申請人又は被申請人が会社の場合、商業登記簿謄本（又は登記事項証明書）（お近くの法務局で取得願います。）を申請書と一緒に提出してください。

8 ~~被申請人との合意によって選定した仲裁委員があるときはその者の氏名~~